学校番号	1201

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新編　言語文化」（数研出版）						
副教材等	「新版七訂　新訂総合国語便覧」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、「自分だったら～するだろう」と、自分の生き方を見つめ直してみましょう。
・さまざまな文章を「読む力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く力」をしっかりと身に付けましょう。
・古典の時間では、有名な古文や漢文の作品に親しむともに、正しく心情や状況を理解するために必要な古語や作品背景などの知識を身に付けましょう。
・提出物の期限は必ず守りましょう。
・漢字や古文単語などの暗記事項は定期的な小テストを実施し、確実な「基礎・基本の定着」を図ります。しっかり勉強して備えましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	・小説の読み方を学ぶ。 ・登場人物の心情の変化を、構造的に読み取り、主題を捉える。 ・内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 ［教材］ とんかつ 羅生門	a：我が国の言語文化について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[読]：「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を理解している。文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができている。 c：積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート 行動の観察
	・歴史的仮名遣いについて理解し、説話の面白さを読み取る。 ・本文と関連する慣用句の意味用法を調べ、短文を作る。 ［教材］ 宇治拾遺物語	a：古文の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：本文を通釈したうえで積極的に慣用句の意味用法を調べ、学習課題に沿ってオリジナルの短文を作ろうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート 行動の観察
2学期	・韻文独特の特徴と表現効果を理解し、情景や心情を読み取る。 ・学習した詩の構成にならって、詩を創作する。 ・印象に残った短歌・俳句の鑑賞文を200字程度で書く。 ［教材］ 六月 サーカス 短歌 俳句	a：我が国の言語文化について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[書]：「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、構成、展開、文体、描写、語句などの表現仕方を工夫している。 c：進んで作品構成を解釈し、学習課題に沿って詩を創作しようとしている。粘り強く、短歌・俳句の鑑賞文の作成に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 行動の観察 振り返りシート 発表
	・歌物語に描かれた内容を、叙述を基に的確に捉える。 ・随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に的確に捉える。 ・本文の教訓が当てはまる自分の体験について記述する。 ［教材］ 伊勢物語 徒然草	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 b[書]：「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料を吟味しながら、表現したいことを明確にしている。 c：進んで歌物語の特徴や表現の仕方について理解し、学習課題に沿って、各章段に描かれた内容を的確に捉えようとしている。積極的に『徒然草』で描かれる「無常観」について考えようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート 行動の観察

3学期	・小説の舞台設定、文章構成、語りの工夫を読み取る。 ・登場人物の心情の変化や、人間関係のあり方について考える。 ［教材］ 葉桜と魔笛 名人伝	a：我が国の言語文化について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[読]：「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を理解している。文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができている。 c：進んで本文の内容や構成、展開を的確に捉え、学習課題に沿って、登場人物の心情を読み取り、人間関係の在り方について考えようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート 行動の観察
	・軍記物語特有の描写を読み取り、内容を捉える。 ・漢文の特色を知り、訓読の決まりを理解し、主題を捉える。 ［教材］ 平家物語 論語	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。漢文の特色を知り、訓読の決まり、漢文特有の表現などについて理解している。 b[読]：「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：義仲と兼平の性格の違いについて粘り強く本文を分析しながら考察しようとしている。漢文に取材した落語のあらすじを調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート 行動の観察

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　８　）時間

・読むこと　…　（　６２　）時間